

研究テーマ	材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想したり、様々な表し方を工夫したりする力を育てる指導の在り方 ——小学校第5学年「めざせローラーの達人」の実践を通して——
-------	---

境町立森戸小学校 教諭 真中 涼子

## I 研究テーマについて

高学年の児童は、造形活動においてその子らしい主題で表そうとしたり、手ごたえのある材料や用具を使おうとしたりする特徴があり、そのような活動の過程において、児童は発想や構想、技能などの能力を身に付けていくことになる。

本学級の児童のほとんどは、図画工作の時間を楽しみにしているが、感じたことや考えたことを表現することに対して苦手意識をもっている児童もいる。

そこで、児童たちが今まで経験したローラーに様々な材料を組み合わせるという経験をさせることで、今までと異なった新たな発想や構想ができるような場を設定した。ローラーでできる新たな可能性を探りながら自分なりの表現をすることを楽しませることで、研究テーマに迫りたい。

## II 研究の実際

### 1 題材名 めざせローラーの達人

### 2 題材の目標

- ローラー遊びを楽しみ、いろいろな表し方をしようとしている。  
(造形への関心・意欲・態度)
- これまでの経験や自分の感覚を働かせながら、表したいものを思い浮かべることができる。  
(発想や構想の能力)
- ローラーの特徴や材料の組み合わせを工夫し、自分の思いにあった表し方をすることができる。  
(創造的な技能)
- みんなの作品のよさやおもしろさを見つけることができる。  
(鑑賞の能力)

### 3 題材について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童22名は、図画工作科の表現活動や鑑賞活動に意欲的に取り組むことができる児童が多い。本題材に入る前に行ったローラー遊びや、モダンテクニックの学習においても、「積極的に試すことができた」と答える児童が多かった。

(事前調査) (調査人数：男子10名、女子12名、計22名 平成28年5月17日実施)

1 ローラー遊びではいろいろなローラーを積極的に試してみましたか。	・はい 18名 ・いいえ 4名
2 ローラーを使ってやってみたいことはどんなことですか。(複数回答)	・いろいろな色を重ねてみたい 11名 ・いろいろな形のローラーを自分で作ってみたい 10名 ・いろいろな形のローラーを使いたい 10名 ・大きな紙に思い切り表現してみたい 6名
3 春を感じての学習で試した技法は何ですか。(複数回答)	・スパッタリング 15名 ・マーブリング 12名 ・ステンシル 10名 ・ドリッピング 7名 ・デカルコマニー 6名 ・にじみ 6名 ・ローラー 5名 ・スタンプング 5名
4 完成したら、どんなことをしてみたいですか。(複数回答)	・家族にプレゼント 12名 ・飾る 11名 ・鑑賞会を開く 8名 ・写真を撮る 4名

事前調査の結果から、本学級の児童は、80%以上の児童が低学年の頃のローラー遊びを積極的に行ったことが心に残っていることが分かった。「いいえ」と答えた児童も全員がローラーを使っていろいろな表現方法を試してみたいと答えており、児童達のこの題材への意欲が十分であることが分かった。さらに、表現した後は家族へプレゼントしたり、飾ったりしたいという気持ちをもっていることも分かった。

そこで、本題材では、児童が自分の思いにあった作品をつくることができるように、材料を計画的に用意させ、自分らしい表現を追求していくことを楽しめるようにする。また、製作後は、展示の方法を工夫させ、友達と意見交換をしながら鑑賞会を開き、次の製作への意欲を高めたり、生活に生かしたりできるようにする。

(2) 題材観

本題材は、ローラーのいろいろな技を工夫することを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培うことをねらいとしている。

ローラーは扱いやすく加工がしやすいため、児童は楽しく製作に取り組むことができると考えられる。児童が発想を広げやすくなるように、製作の前に素材にふれたり、試したりする時間を十分にとりたい。また、失敗を恐れずに製作に取り組むことができるよう、材料や用具も十分にそろえるようにしたい。

(3) 指導観

これまで児童は、「春を感じて」の題材を通して、絵の具やクレヨン、カラーペンなどの描画材料やスパッタリングやマーブリングなどのモダンテクニックの技法を工夫して春をイメージした作品を仕上げる学習を行ってきた。本題材では、自分で工夫してつくったローラーを使って画面をつくり、そこへさらに思いついた色や形を重ねていくという学習を行う。ローラーにいろいろな材料を組み合わせたり、いろいろな色や形を重ねたりすることで表現の幅を広げていくようにする。児童には、これまでのローラー遊びやモダンテクニックなどの経験を生かしてローラーでできる高学年らしい新たな可能性を探りながら自分なりの表現をすることを楽しませたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
ローラー遊びを楽しみ、興味をもっているいろいろな表し方をしようとする。	できた画面から発想を広げて、美しい画面を構想することができる。	自分の思いにあった用具や方法を使って効果的に画面をつくることができる。	みんなの作品から表現のよさを見つけ、伝え合うことができる。

5 指導と評価の計画（5時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ①	いろいろなローラー遊びをする。	・ローラー遊びを楽しみ、いろいろな表し方に興味をもっている。関【観察・作品】
第2次 ③	いろいろなローラーと好きな色を使って画面をつくる。	・自分の思いに合った用具や方法を使って効果的に画面をつくっている。創【観察・作品】
	ローラーを使ってできた画面から発想を広げる。	・できた画面から発想を広げて、美しい画面を構想している。想【観察・作品】
	ローラーを使ってできた画面から発想を広げ、より一層工夫して絵に表す。	・できた画面から発想を広げて、美しい画面を構想し、絵に表している。創【観察・作品】
第3次 ①	互いの作品を鑑賞し合い、よさやおもしろさをとらえる。	・みんなの作品から表現のよさを見つけ、伝え合っている。鑑【鑑賞カード・発表】

6 指導の実際

(1) 準備・資料

模造紙、画用紙、色画用紙、ポスターカラー、クレヨン、ぼかし網、ストロー、ローラー、マーブリング液、トレイ、はさみ、テープ、のり、ひも、気泡緩衝材、スタンピング用スポンジ、ダンボール、筆記用具、学習カード

(2) 展開

	学習内容及び活動	教師の支援（・）と評価（◇）
1 40	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ローラー遊びを試してみよう。</div> <p>「いろいろな形のローラーを使ってみよう。」            「ローラーの使い方を変えたら面白い模様ができるよ。」            「ローラーにひもを巻き付けると面白い模様ができるね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形のローラーや、ひも、ダンボール、気泡緩衝材などローラーに巻き付けられる材料を用意し、児童がいろいろなローラー遊びを体験できるようにする。</li> <li>・グループでローラー遊びをさせることで、友達の表現を見ながら楽しく活動できるようにする。</li> </ul> 
5	2 片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に協力して片付けるよう指示する。</li> <li>・作品の置き場所や、用具の片付ける位置を指示する。</li> </ul>
2 5	<p>3 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">いろいろなローラーと好きな色を使って画面を作ろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に作成した模造紙を掲示しておき、本時の活動への意欲を高める。</li> </ul>
25	<p>4 イメージをまとめ、画面を作る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形のローラーや、ひも、ダンボール、気泡緩衝材などローラーに巻き付けられる材料、ポスターカラーなどを用意し、児童が思いにあった表現ができるようにする。</li> <li>・児童が何度でも試せるように、画用紙を用意しておく。</li> <li>・画面のイメージがまとまった児童には、四つ切り画用紙に画面を作成するよう指示する。</li> </ul>
10	<p>5 アイディアスケッチを描く。            [児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗い色が多いから明るい色を重ねよう。</li> <li>・海のような絵にしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できあがった画面に合う絵や模様、色を考えるよう伝える。</li> <li>・絵で表現しにくい場合は、イメージを言葉で書いてもよいことを伝える。</li> </ul> 

5	6 片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に協力して片付けるよう指示する。</li> <li>・作品の置き場所や、用具の片付ける位置を指示する。</li> </ul>
3	5 7 本時の課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ローラーを使ってできた画面から発想を広げて、世界で一つの絵を表そう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活動のよかった点を話したり、参考作品を提示したりすることによって本時への意欲を高める。</li> <li>・数名の児童の作品と本時の活動の予定（技法や色など）を紹介し、学習の参考となるようにする。</li> <li>・学習の活動の流れや、終了時刻について確認できるように板書する。</li> <li>・学習形態は3～4人のグループとし、友達に相談したり、友達の作品を参考にしたりできるようにする。</li> <li>・授業の前に、使う予定の用具をグループ毎に用意させておく。また、その他の用具も種類毎に分けて用具コーナーに置いておき、児童が自由に使えるようにしておく。</li> <li>・前時に考えておいたアイディアスケッチをもとに色や技法を選ぶよう伝える。</li> <li>・アイディアスケッチを変更したいという児童がいた場合は、児童の思いを確認してから製作を進めさせる。</li> <li>・画面に色を着ける前に、別の紙に試してから行うとよいことを伝える。</li> <li>・一人一人のテーマを見取り、ローラーの表現を生かすように言葉かけをする。</li> <li>・楽しい気持ちで活動できるようBGMを流す。</li> </ul>
30	8 できた画面から発想を広げて描く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">画面にあった技法や色を使って絵をかこう。</div> <p>〔児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイディアスケッチの絵をクレヨンで描いてみよう。</li> <li>・スパッタリングが合いそうだな。</li> <li>・ドリッピングを使ってみよう。</li> <li>・画面の色が暗いから、明るい色を重ねてみよう。</li> <li>・マーブリングをして、上から貼ってみよう。</li> <li>・○○○さんのようにスタンプングをしてみよう。</li> </ul>	
5	9 学習カードに本時の振り返りを書き、感想を話し合う。	
5	10 片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ローラーを使ってできた画面から発想を広げて絵を描くことができたか。（作品・観察）</li> <li>・本時の活動の振り返りをカードに書くように伝え、発表させる。</li> <li>・数名の児童に発表させ、本時のよかった点やがんばりを賞賛し、次時への意欲を高める。</li> <li>・作品を乾燥棚へ置いたり、使用した用具をきちんと整理したりするよう伝える。</li> </ul>
4	40 11 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ローラーを使ってできた画面から発想を広げて、世界で一つの絵を完成させよう。</div> <p>〔児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○○さんのように、クレヨンで描いてみよう。</li> <li>・スパッタリングをもう少しやってみよう。</li> <li>・画用紙を切って違う台紙に貼ってみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活動のよかった点を話したり、参考作品を提示したりすることによって本時への意欲を高める。</li> <li>・数名の児童の作品と本時の活動の予定（技法や色など）を紹介し、学習の参考となるようにする。</li> </ul>
5	12 片付けをする。	

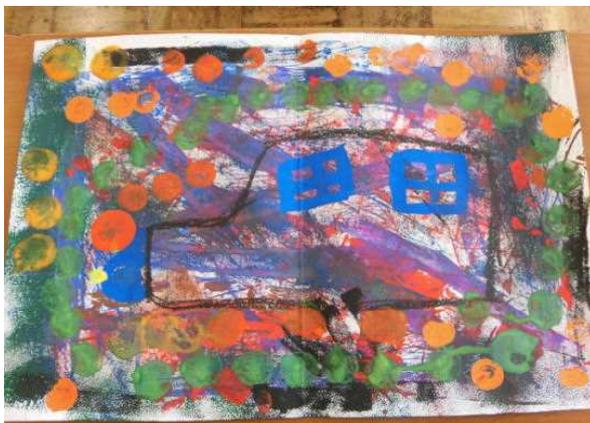
<p>5 40</p>	<p>13 互いの作品を鑑賞し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作品に題名をつけさせる。</li> <li>• 鑑賞は、自分→グループ→クラスの順に進めていくことを伝える。</li> <li>• 付箋紙はピンクが「良い点」、水色が「アドバイス」として使うよう伝える。</li> <li>• 枚数については、偏りが大きくなるよう巡視しながら声かけをする。</li> </ul>
<p>5</p>	<p>14 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 友達からもらった付箋を読んで鑑賞カードに整理させ、感想を書くよう伝える。</li> </ul>



1 「ローラー遊びを試してみよう」～ ローラーで遊び、模造紙に面白い模様を表す～



2 「いろいろなローラーと好きな色を使って画面を作ろう」～画面を作る前に細長い画用紙に試す～



4 「世界で一つの絵を表そう」  
～ 完成作品①：画用紙にローラーやモダンテクニックなどの技法を使って表す～



#### 4 「世界で一つの絵を表そう」

～ 完成作品②:ローラーやモダンテクニックなどの技法の後に画用紙を再構成して表す ～

「めざせローラーの達人」 振り返りカード

名前

学習内容	今日の学習を振り返って
1 いろいろなローラー遊びをしよう。	最初は、いろいろな物を使って、色を塗る練習をした。楽しかった。色もよくのびた。
2 いろいろなローラーと好きな色を使って画面をつくらう。	大きい画用紙でやるのが、楽しかった。好きな色で塗ることができた。
3 ローラーを使ってできた画面から発想を広げて、絵をかこう。	スパッタリエガースティックを使って、色がのびた。楽しかった。
4 ローラーを使ってできた画面から発想を広げて、絵をかこう。	出たものから、海や空、山などをイメージして、絵をかいた。楽しかった。
5 友達の作品のよさを見つけよう。	友達の作品を見て、いいところを褒めた。楽しかった。

スパッタリエガ (水色)

学習カード

鑑賞カード めざせローラーの達人 5年 1名前

1 自分の作品について  
きれいな色を使って工夫して描きました。  
もつぎし道具も使いたかったです。

2 ふせん  
色々な方法が使われていて楽しい作品だった。  
全体のバランスがよくて自分もこんな絵が描きたいなと思いました。

3 感想  
みんながいろいろな場所を見てから、うれしかったです。僕も自分が描いた絵を褒めたい色、たくさん描いてほしいよ色は青白です。

4 友達の作品を見て、いいところを褒めた。楽しかった。

鑑賞カード

### III 研究の成果と課題

#### 1 成果

授業後の感想発表や振り返りカードから、本題材で児童達は、思い思いの表現を楽しむことができたことが分かった、これは、ローラーに付ける様々な材料を用意したことや、表現を試すための模造紙と画用紙を十分用意したためと考えられる。

また、ローラーだけでなく、前の題材で学習したモダンテクニックを取り入れた児童もたくさん見られた。モダンテクニックとローラーの表現を合わせることで、児童達は新たな表現を考えたり、楽しんだりすることができた。

鑑賞活動においては、自分の作品について感想を書いた後、友達作品を互いに鑑賞し合った。色分け付箋を用いて行い、ピンクの付箋には良いところ、水色の付箋にはアドバイスを書くように指示した。授業終了時には、友達からの付箋を見た感想を書かせた。水色付箋はほとんどなく、作品の隣には良いことを書かれたピンクの付箋がたくさん貼られていた。友達からほめられたことで、児童達はとても嬉しそうであり、次の作品づくりに対して意欲を高めていた。

#### 2 課題

試しの段階で、模造紙への表現を、児童達はことのほか喜んでしたが、模造紙への表現ばかりに夢中になって自分の画用紙になかなか取りかかれぬ児童や、せっかくの試しを作品に生かしきれなかった児童が見られた。模造紙や画用紙への試しの時間を、ある程度制限したり、児童のアイディアを生かせるように、タイミングを見て声かけをできるようにしたい。

また、用具や材料についてはさらに研究をして、児童がもっと多様な表現を思いつくことができるようにしたい。